
地域居住学シラバス

1 授業の目的

地域居住学では、まちづくりの視点から、様々な社会問題を考え、対応策を検討する。取り上げる題材は、できる限り現時点で社会的に注目されているものとする。授業の目的は以下のとおりである。

- (1) まちづくりを社会的な視点からとらえるようにする。
- (2) 新聞、ニュースなどで取り上げられている社会問題について、自分なりの意見をもてるようになる。
- (3) まちづくりに関連する本を何冊か読む。
- (4) 自分の意見を文章にまとめる。

2 授業の進め方

教科書、配布資料、パワーポイントなどを使って授業を進める。参考文献はホームページもしくは授業中に適宜伝える。

毎回、授業の中間時に質問用紙を配布する。そこに、その日の授業でわからなかったこと、補足説明をしてほしいことなどを記入してもらおう。そして残りの時間を使って質問に答える。

おおむね講義3回に1回の割合でレポート課題を出す。見学ルートを設定しそれについてのコメントを書く場合と、授業に関連する文献を読みコメントを書く場合がある。課題内容の概要、提出期限については授業中に指示する。またレポート課題を変更することがあるため、本シラバスよりも授業中に出す指示が優先する。

3 成績評価

成績評価は、レポートの点数で行う。

4 授業内容

各授業の内容、回数は以下のとおりである。

- (1) **公共事業の現状と改革の方向**（講義4回：1,2,3,4、レポート1）
1回目 公共事業とは何か、諸外国との比較、公共事業の特徴、問題点。

- 2 回目 公共事業改革の方向性。
- 3 回目 公共事業に依存しない地域経済対策。
- 4 回目 公共事業をめぐる社会問題。談合とは何か、入札制度をどうすべきか。

(2) 少子化の実態とまちづくりの課題（講義 3 回：5,6,7、レポート 2）

- 5 回目 少子化の実態、少子化対策の全体像、諸外国で取り組まれている少子化対策。
- 6 回目 子育てしやすい地域とは（その 1. 就学前を中心に）。
- 7 回目 子育てしやすい地域とは（その 2. 就学後を中心に）。

(3) 高齢化の実態とまちづくりの課題（講義 2 回：8,9、レポート 3）

- 8 回目 高齢化の実態、介護保険の概要
- 9 回目 高齢者が暮らしやすい地域とは、スウェーデンの高齢者施設

(4) 商店街の現状と地域活性化（講義 3 回：10,11,12、レポート 4）

- 10 回目 商店街の現状、商業施設計画の歴史、商店街活性化策
- 11 回目 全国の商店街活性化策…ゲストスピーカー
- 12 回目 奈良の商店街活性化策…ゲストスピーカー及び現地見学

(5) 地方分権と自治体のまちづくり（講義 2 回：13,14,15、レポート 5）

- 13 回目 地方分権、地域主権とは。なぜ地方分権なのか。
- 14 回目 市町村合併、道州制、大阪都構想とは。分権とまちづくりについて。
- 15 回目 市民参加型まちづくり。